

11人中11人回答

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	10	1		規定通りの施設のスペース確保をしている。必要に応じて2階スペースや、勉強室を利用するようにしている。
	2	職員の配置数は適切であるか	11			必要な職員数を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	1		施設がバリアフリー化されていて、手摺がついていたり、トイレは車椅子対応になっている。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	4	1	職員間の連絡ノートをつくり、情報を共有できるようにしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	1	1	年1回アンケートを実施し、保護者の意向を伝え意見を聞いている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	3	1	年一回結果を報告し、ホームページに公開している。令和7年度は、11月公開予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	5	1	外部評価の代わりとして、民生委員や地域の方に、行事に参加してもらい様子を見ていただいている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	2	1	研修情報提供をし、参加を促している。興味のあるものがありましたら、参加をお願いします。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等ディサービス計画を作成しているか	10	1		責任者が、保護者の意向を聞き、こどもの意見も尊重しつつ計画を立てるようにしている。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	10	1		個々にあったツールを使用するようにしている
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	4		意見を聞いたり、スタッフの得意分野を生かした活動をしている。今後も提案があつたら、取り入れて計画を立てていきたい。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	2		利用者の意向を取り入れ、活動できるように計画をしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	2		季節に応じて、外へ出て体を動かした遊びをする。室内では、貼り絵などの作業や、個々の興味に応じて活動を行っている。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等ディサービス計画を作成しているか	10	1		集団活動は、個々に応じてやれる事をし、達成感を持たせるようにしている。個別活動は、興味を持った事を継続してできるように活動している。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	9	2		送迎前に、前日の様子を伝えたり注意することなどを話している。連絡ノートを活用してください。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	4	1	日報や、記録簿に気づいた点などがありましたら、記入をお願いします。次の日に話し合いなどをしていきたいと思います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	9	2		ケース記録を記入し情報を共有している。連絡ノートを活用していきたい。ケース記録に目を通すようにしてください。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2	担当職員が、定期的に見直しをしている。相談員が対象児の様子を見に来所し、責任者と話し合いをしている。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10	1	保護者の悩みを聞き、助言をしている。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	9	2	児童発達管理責任者が出席している。
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	10	1	担任の先生と話し、情報を共有している。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	7	4	現在医療的ケアが必要な利用児がいない。協力医とは、連絡ができるように交流をしている。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	8	3	関わりがなく情報は、相談事業所など他から得ている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	6	5	必要に応じて情報を提供していきたい。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	2	正規職員が、研修等があれば参加している
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	2	児童館へ遊びに行き、他のこどもたちとの交流ができるようにしている
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	8	3	正規職員が、研修等があれば参加している
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1	送迎時に様子を伝えたり、連絡ノートに記入したりしている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	4	必要に応じて、保護者との話し合いの機会をもうけたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2	責任者が、契約時に重要事項説明書の説明をしている。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	1	責任者が、電話や、送迎時、施設にて面談を行っている。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	5	今後希望があれば活動の支援していきたい。保護者が交流できるような企画を考えていきたい。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	10	1	苦情等あった場合は、職員間で話し合い保護者様と話し合いをしていきたい。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	通信やブログ等にて情報を伝えている。Lineにて様子を伝えている
	35	個人情報に十分注意しているか	10	1	責任者が、雇用契約時に個人情報取り扱い契約書に署名してもらい同意を得ている。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	1	送迎時や連絡ノートにて伝えている。Lineを活用し、様子などを伝えている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	2	年に3回、民生委員や地域の方に、「こども食堂」に招待し様子をみてもらっている。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	2	マニュアルを策定し、玄関にファイルにて公開している。今後も周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	1	年2回の避難訓練を実施している。その様子をブログで伝えている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	3	虐待防止の研修を正規職員が受けている。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10	1	身体拘束の必要な子どもがいない為、計画に記載していない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10	1	今現在該当なし。
非常時等の対応	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	3	ヒヤリハットがあった場合はすぐに共有するようにしている